

## 再発防止・改善策の取組状況

(平成31年度県立高等学校入学者選抜について)

	調査改善委員会 最終とりまとめ 今後の課題	再発防止・改善策	取組状況
1	共通選抜学力検査以外の検査におけるマークシート方式の導入	記号選択式問題における解答方法としてマークシート方式の導入	平成30年度入学者選抜からマークシート方式の導入を拡大 共通選抜学力検査に加え、 ・海外帰国生徒特別募集 ・在県外国人等特別募集 ・中途退学者募集 ・共通選抜追検査 ・定通分割選抜 においても実施
2	学力検査問題について（質と量）	記述式問題の見直し	問題の質を確保しつつ、分量について見直し ・平成30年度入学者選抜から各教科とも「中間点のある記述式問題」を1問に統一 ・「中間点のない記述式問題」については、ほぼ変更なし。 ※5教科合計の問題数 H30 21問→H31 21問
3	マークシート読取機の全校配置に伴う準備体制	記号選択式問題における解答方法としてマークシート方式の導入	・平成30年度入学者選抜から、全校にOMR機器を設置 ・10/15、12/6にシステム関係の説明会実施
4	新入生アンケートの実施	記号選択式問題における解答方法としてマークシート方式の導入	平成29年10月にアンケートを実施し、調査結果を集約（別紙参照）
5	学校現場（高校・中学）からの意見・要望等の集約	記号選択式問題における解答方法としてマークシート方式の導入	県立学校長会議入学者選抜研究会及び公立中学校長会から意見・要望を集約（別紙参照）

## 4 新入生アンケートについて

## (1) アンケート対象 (回答数)

	回答数
全日制、夜間定時制を除く定時制【生徒】	約 3,800 人
全日制、夜間定時制を除く定時制 (保護者)	約 3,000 人
夜間定時制、通信制【生徒】	約 480 人
夜間定時制、通信制 (保護者)	約 130 人
県立高校	138 校
市町村教育委員会	31 市町村
中学校	131 校

## (2) アンケート内容 (一部抜粋)

(ア) 「学力検査における記述式問題の出題」について、どう思うかを質問

	全日制、 夜間定時 制を除く 定時制 【生徒】	夜間定時制・ 通信制 【生徒】	全日制、 夜間定時 制を除く 定時制 (保護者)	夜間定時制・ 通信制 (保護者)	県立高校	市町村 教育 委員会	中学校
肯定的回答	約 93%	約 94%	約 96%	約 96%	約 47%	約 97%	約 99%

(イ) 「マークシートの導入」について、どう思うかを質問

	全日制、 夜間定時 制を除く 定時制 【生徒】	夜間定時制・ 通信制 【生徒】	全日制、 夜間定時 制を除く 定時制 (保護者)	夜間定時制・ 通信制 (保護者)	県立高校	市町村 教育 委員会	中学校
肯定的回答	約 83%	約 93%	約 87%	約 93%	約 98%	約 84%	約 85%

(ウ) 「答案写しの交付」について、どう思うかを質問

	全日制、 夜間定時 制を除く 定時制 【生徒】	夜間定時制・ 通信制 【生徒】	全日制、 夜間定時 制を除く 定時制 (保護者)	夜間定時制・ 通信制 (保護者)	県立高校	市町村 教育 委員会	中学校
肯定的回答	約 95%	約 94%	約 97%	約 96%	約 59%	約 77%	約 87%

## 5 学校現場（高校・中学）からの意見・要望等について

### (1) 県立学校長会議入学者選抜研究会からの主な意見等（平成 29 年度入学者選抜について）

- 記述式問題について
  - ・ 採点の業務量を考えると社会に時間がかかっているため、工夫ができるとよい。
  - ・ 採点日として設定した 2 日間では、どの学校も採点を完了することができなかつたことは、量と質に大きな問題があったといえる。
  - ・ 記述式の分量は要検討である。
- マークシート方式について
  - ・ マークシート方式そのものの導入は効果があったと思う。
  - ・ マークシート方式導入で採点・点検について省力化できたことはよかった。
- 答案写しの交付について
  - ・ 採点誤りがないことを検証するためにも良いことだと思う。また、簡易開示がなくなったことも業務軽減に寄与するものだと思う。
  - ・ 印刷に相当の時間を要した。

### (2) 神奈川県公立中学校長会からの意見等

「平成 29 年度公立高等学校入学者選抜 学力調査問題検討書」から抜粋

#### ○ 記述式問題の内容及び問題の妥当性について

	問題の形式		問題の妥当性			
	記述式問題の内容		学習指導要領との関係		思考・判断・表現の問題	
	適切	一部適切でない	適切	一部適切でない	適切	一部適切でない
国語	87.4%	12.6%	92.4%	7.6%	89.9%	10.4%
社会	73.9%	26.1%	89.4%	10.6%	83.9%	16.1%
数学	88.8%	11.2%	94.4%	5.6%	79.7%	19.8%
理科	88.4%	11.6%	91.9%	8.1%	91.9%	8.1%
英語	83.6%	16.4%	83.1%	13.4%	79.1%	20.9%

#### ○ マークシート方式について

	マークシート方式について	
	適切	一部適切でない
国語	65.7%	26.3%
社会	87.9%	6.0%
数学	53.3%	42.1%
理科	91.4%	6.1%
英語	83.1%	9.5%

#### ○ 作問に当たっての要望

- ・ マークシート方式の導入により、選択問題が増えたため、本来の力を見ることができると疑問とする声が多い。選択肢の数を多くすることや、配点に配慮することをお願いしたい。

また、採点の大変さがあると思うが、本来の力を見るためには、記述式の問題を増やすことが必要である。